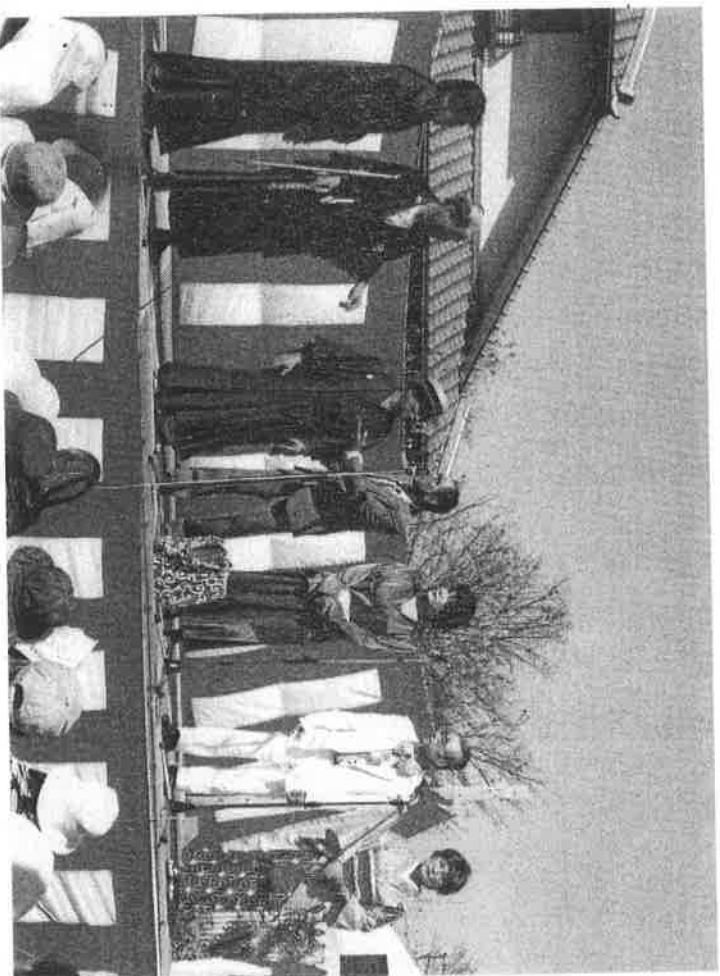


伊倉仁○加保存会

年間文化活動部門



概要

設立年月 平成7年3月

会長 関 康志(せき やすし)

会員数 15名

住所 玉名市伊倉南方1363-4

伊倉ふれあい仁○加館内

主な活動地 玉名地域

にわかには、即興などで演じる笑いの寸劇。江戸時代に京都や大阪で始まり、全国に広まったとされています。商業の町として栄えた伊倉地区でも江戸中期頃にわかが盛んに演じられ賑わいを見せていましたが、娯楽の多様化や後継者不足などで衰退し、昭和五十八年頃から一時中断されていました。

本会は、「笑い」を核に地域に笑顔と活力を取り戻すとともに、伊倉仁○加の保存・継承・後継者の育成と、文化の向上を目的に平成七年に結成され、活動を開始しました。

平成十三年から玉名市が小学校校区ごとに進めている「二区一輝」運動にも積極的に取り組み、小中学校の総合学習に仁○加を取り入れたり、文化庁が支援する「伝統文化子ども教室」で指導にあたるなど、地元に着した活動を行っています。

平成十五年に開催された「第一回肥後にわかアマチュアコンクール」では最優秀賞に輝き、同時に出場した伊倉小六年生も特別賞を受賞するなど、地域の取組みが評価されています。

平成十六年には、会の結成十年を記念して、住民主導での手づくりの「全国にわか交流大会」を十月に主催して、他県から伝統あるにわか団体を招いて県内団体との交流を深めただけでなく、地域文化の活性化に大きく貢献しました。さらに、同年十一月には、福岡県で開催された「第十九回国民文化祭・ふくおか2004」にわか祭典「」にも出場するなど、県内あるいは全国に向けて伊倉仁○加の情報発信をしました。

地元に着しながら伝統芸能である伊倉仁○加を守り継ぎ、笑いがつなぐ人と人の輪、地域社会との輪を大切に、文化の向上と発展に努める同会の活動は、今後も更なる活躍が期待されています。

これまでの活動歴

平成七年	(一九九五)	三月	保存会設立
平成八年	(一九九六)	四月	伊倉南北両八幡宮春の大祭出演(以後毎年)
平成十一年	(一九九九)	十月	繁根木八幡宮大祭出演(以後毎年)
平成十二年	(二〇〇〇)	一月	天水町健康フェア出演
平成十三年	(二〇〇一)	三月	岱明町健康フェア出演
平成十四年	(二〇〇三)	四月	玉南中学校・伊倉小学校の総合学習に仁○加を取り入れる
平成十五年	(二〇〇三)	十一月	玉名市健康福祉フェア出演
平成十六年	(二〇〇四)	四月	第一回肥後にわかアマチュアコンクール最優秀賞受賞
		一月	NHK「ひのくにトウライ」出演
		七月	「伝統文化子ども教室」開催
		九月	RKK「熱血じゃご一座」出演
		十月	「全国にわか交流大会」開催
		十一月	「第十九回国民文化祭・ふくおか2004」にわか祭典「」出場
		十一月	NHK「おくいニッポン」出演
		十一月	熊本県生涯スポーツセミナー出演

*その他毎年市婦人会・PTA・敬老会等に出演